

那覇市役所
本庁舎防火
設備修繕に
係る設計図書

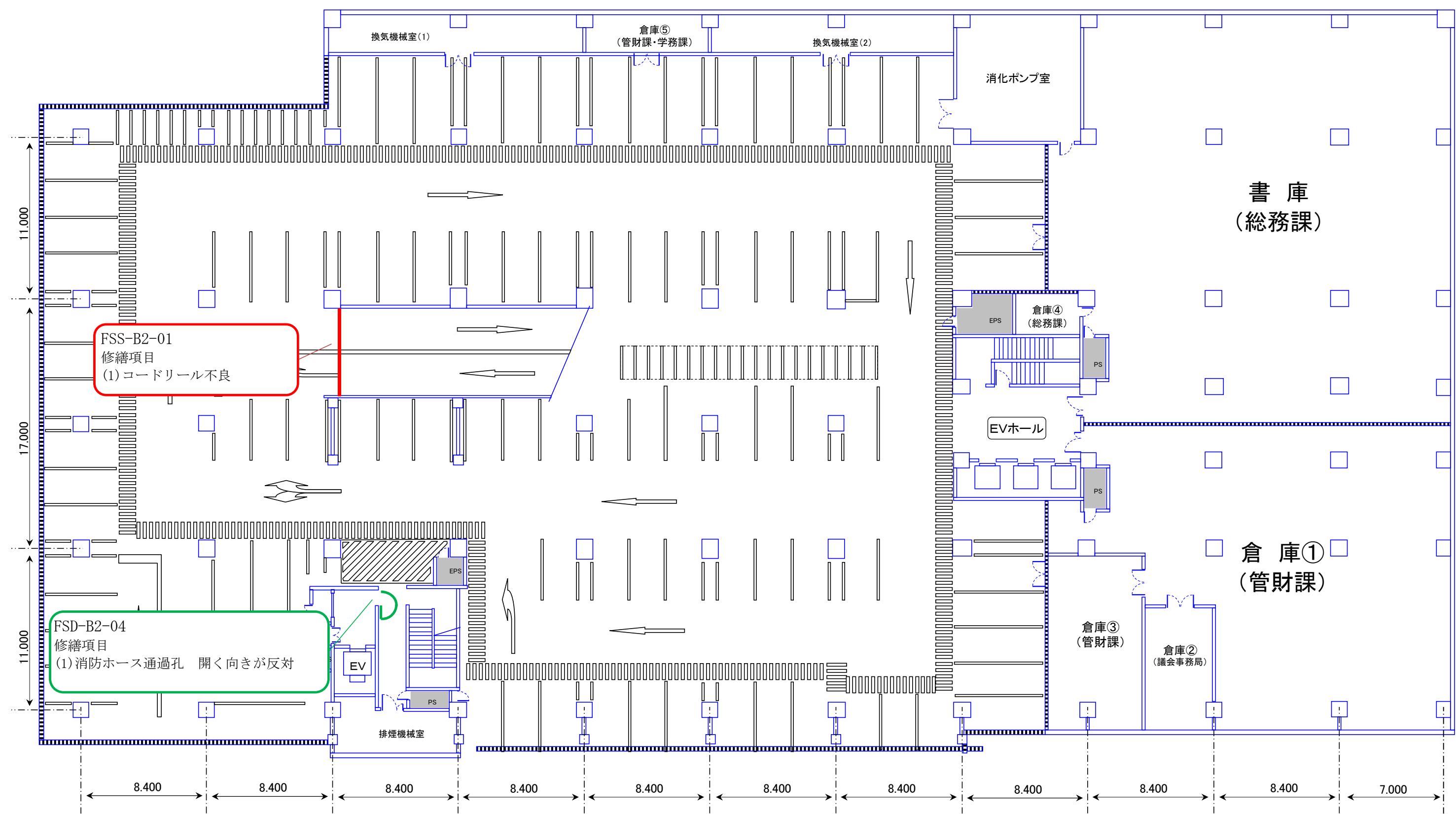
各フロア 修繕対象となる防火設備数

	防火扉	防火シャッター	耐火スクリーン
地下2階	1	1	0
地下1階	2	0	0
1階	1	1	0
2階	6	2	0
3階	6	0	0
4階	5	1	0
5階	3	0	0
6階	2	0	0
7階	1	0	0
8階	1	0	0
9階	2	0	0
11階	2	0	0
12階	2	0	0
合計	34	5	0

1 那覇市役 所 本庁舎 平面図

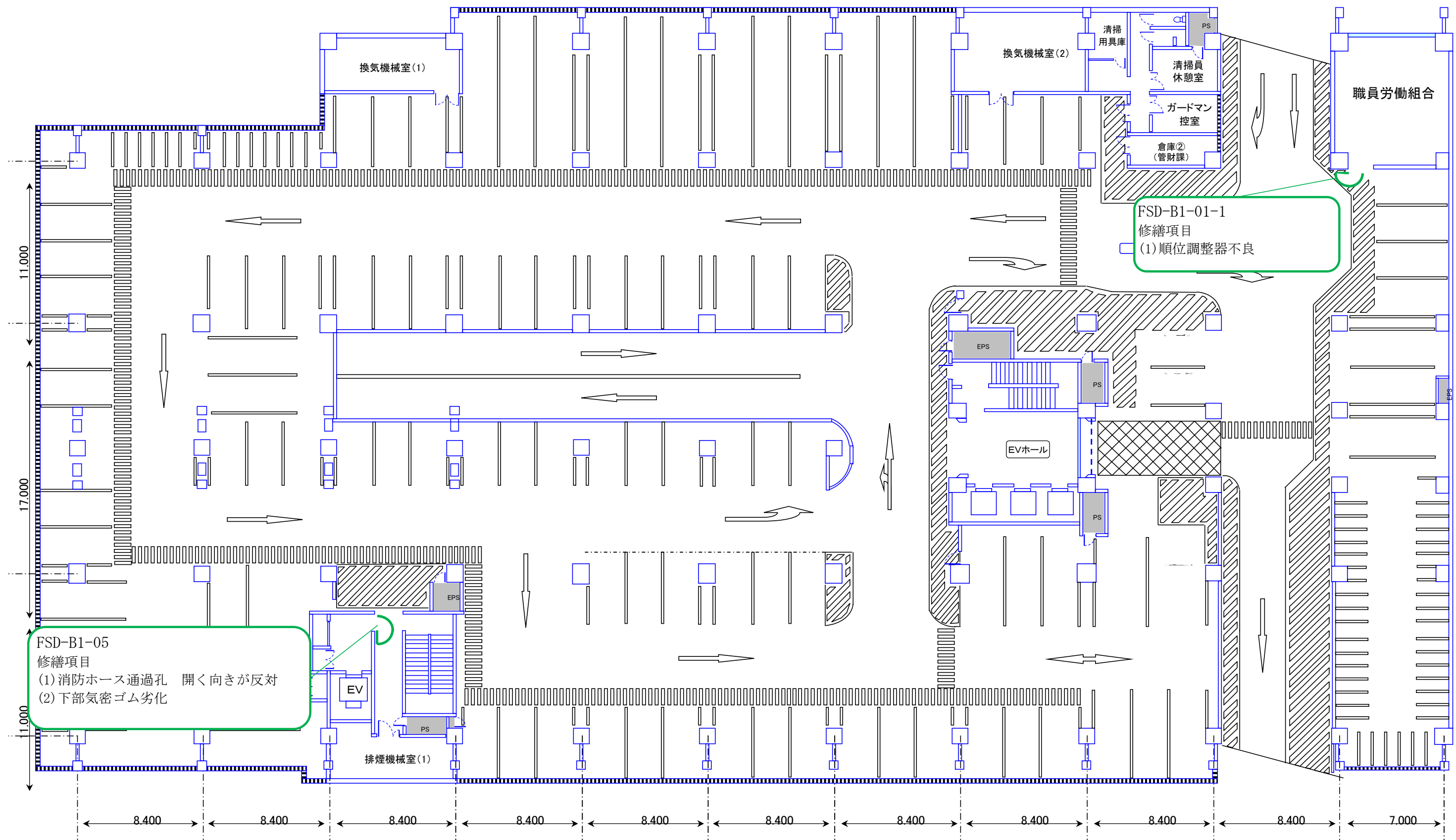
FSD 1
FSS 1

本庁舎 地下2階 配置図



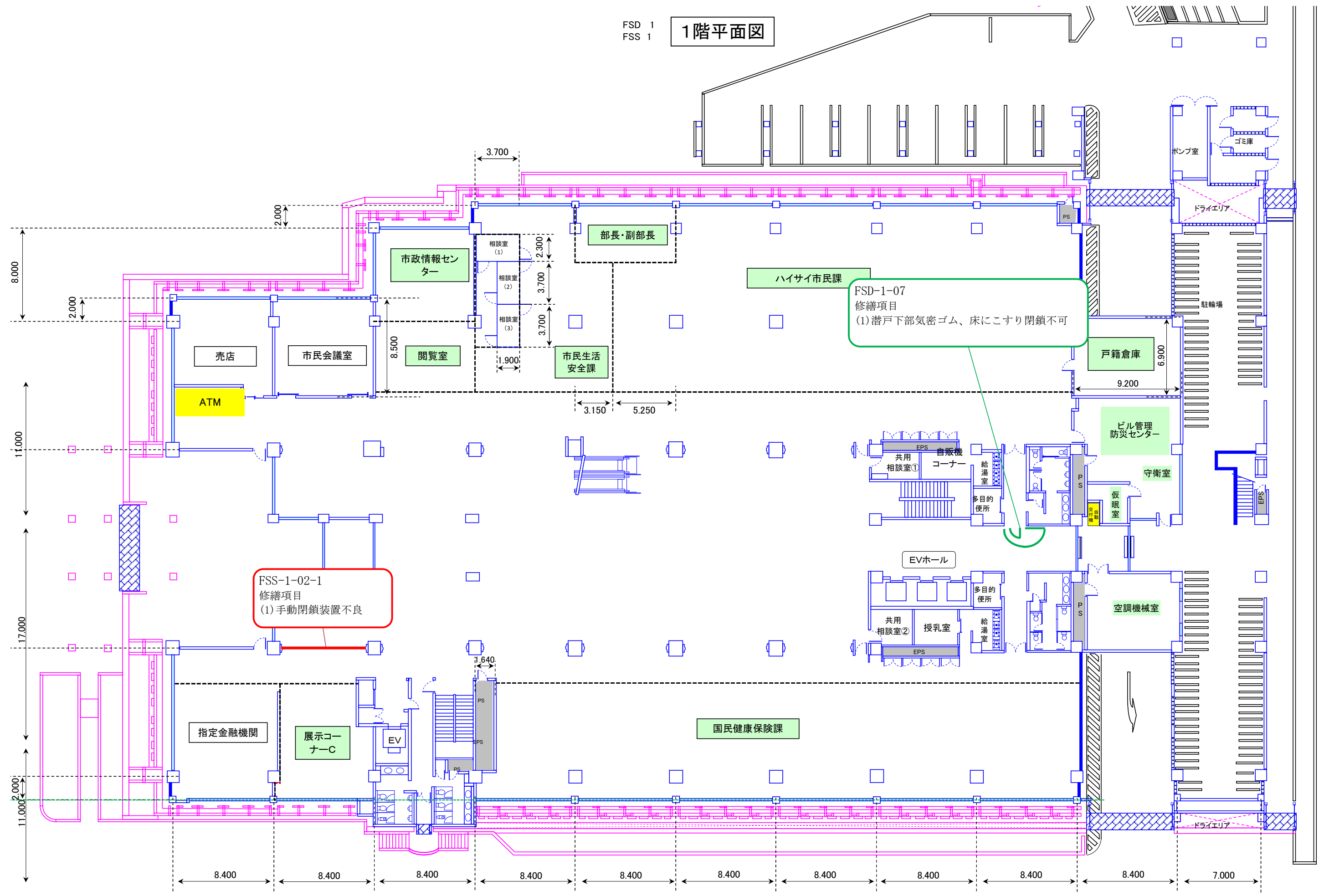
FSD 2
FSS 0

本庁舎 地下1階 配置図

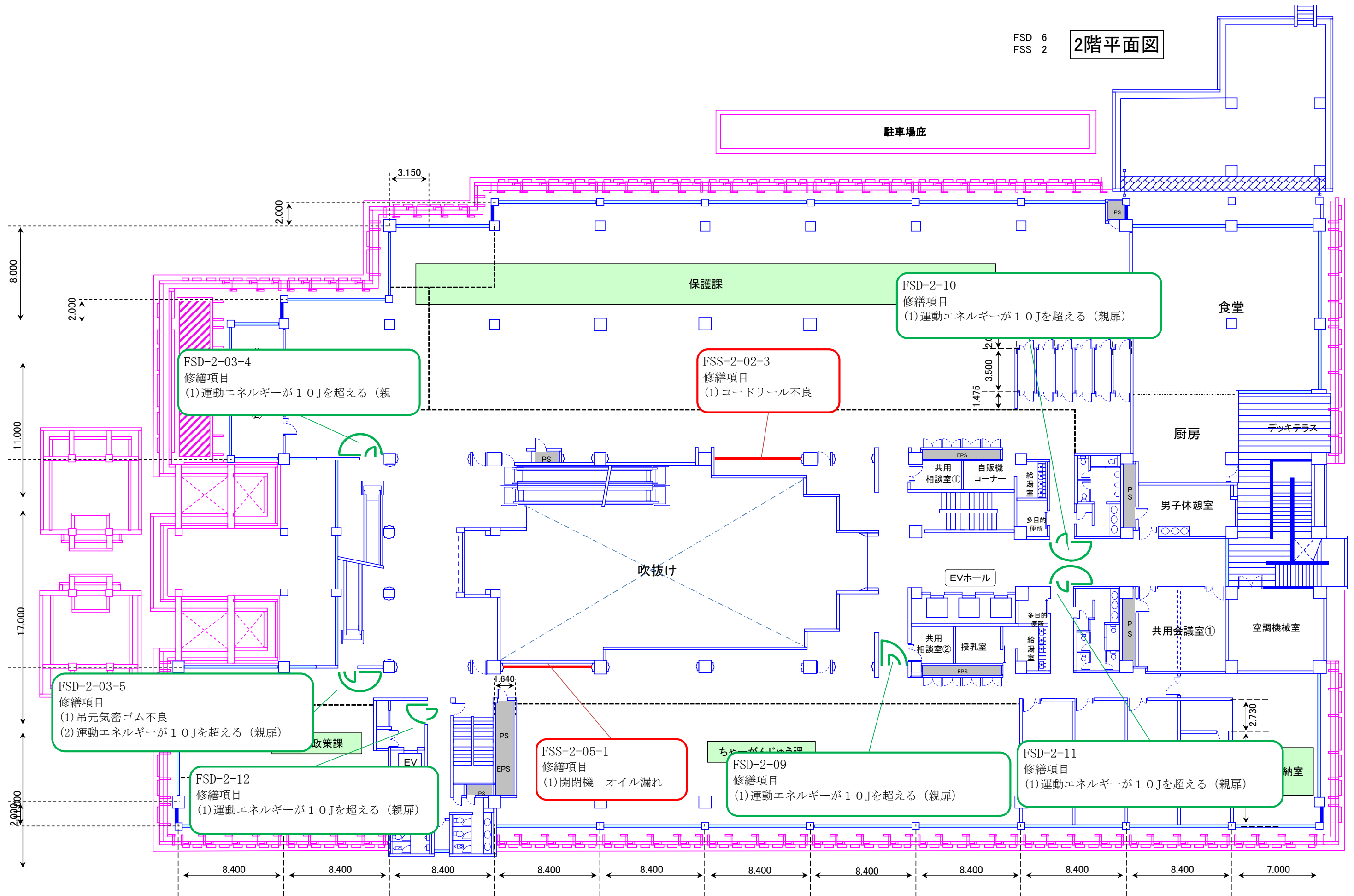


FSD 1
FSS 1

1階平面図

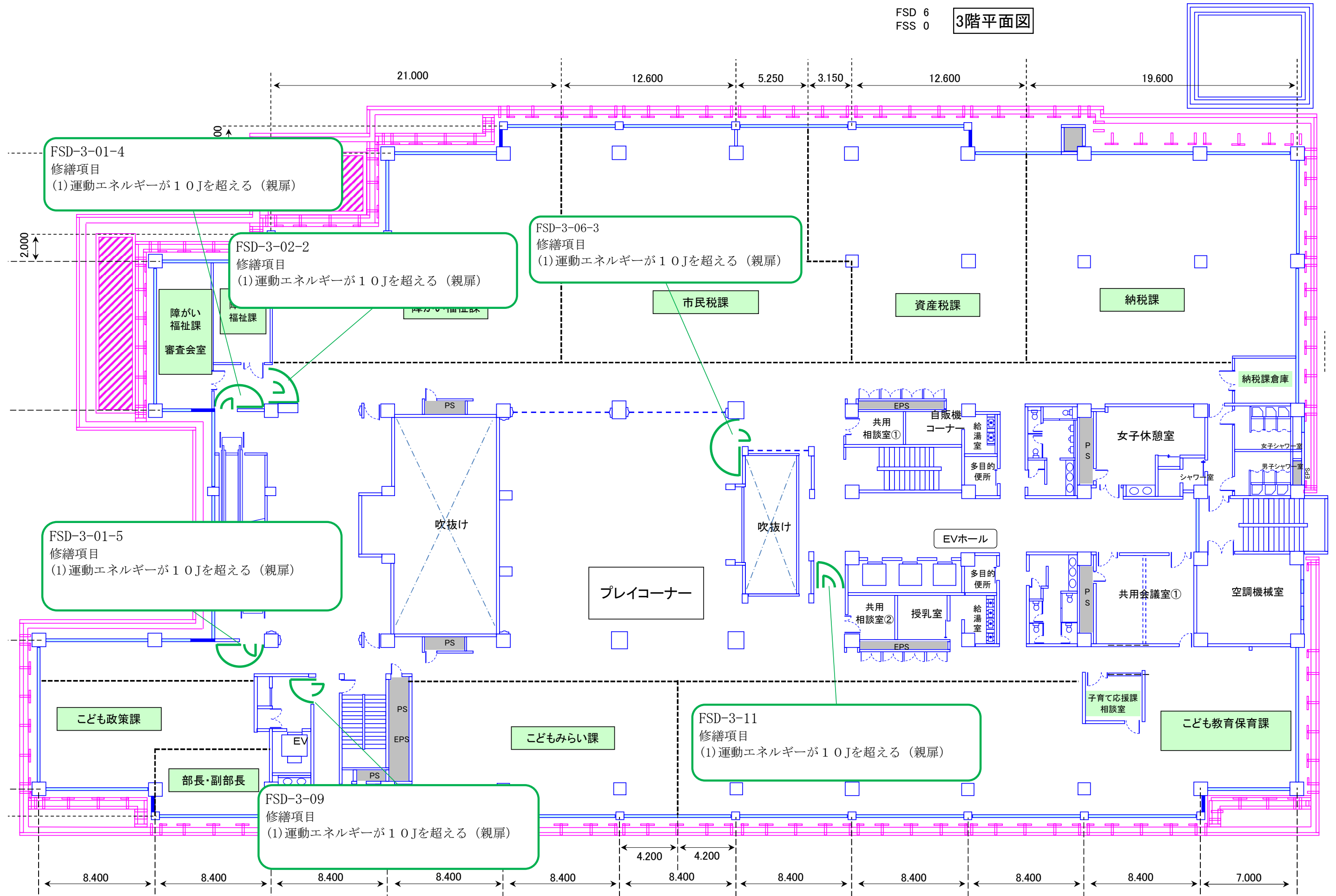


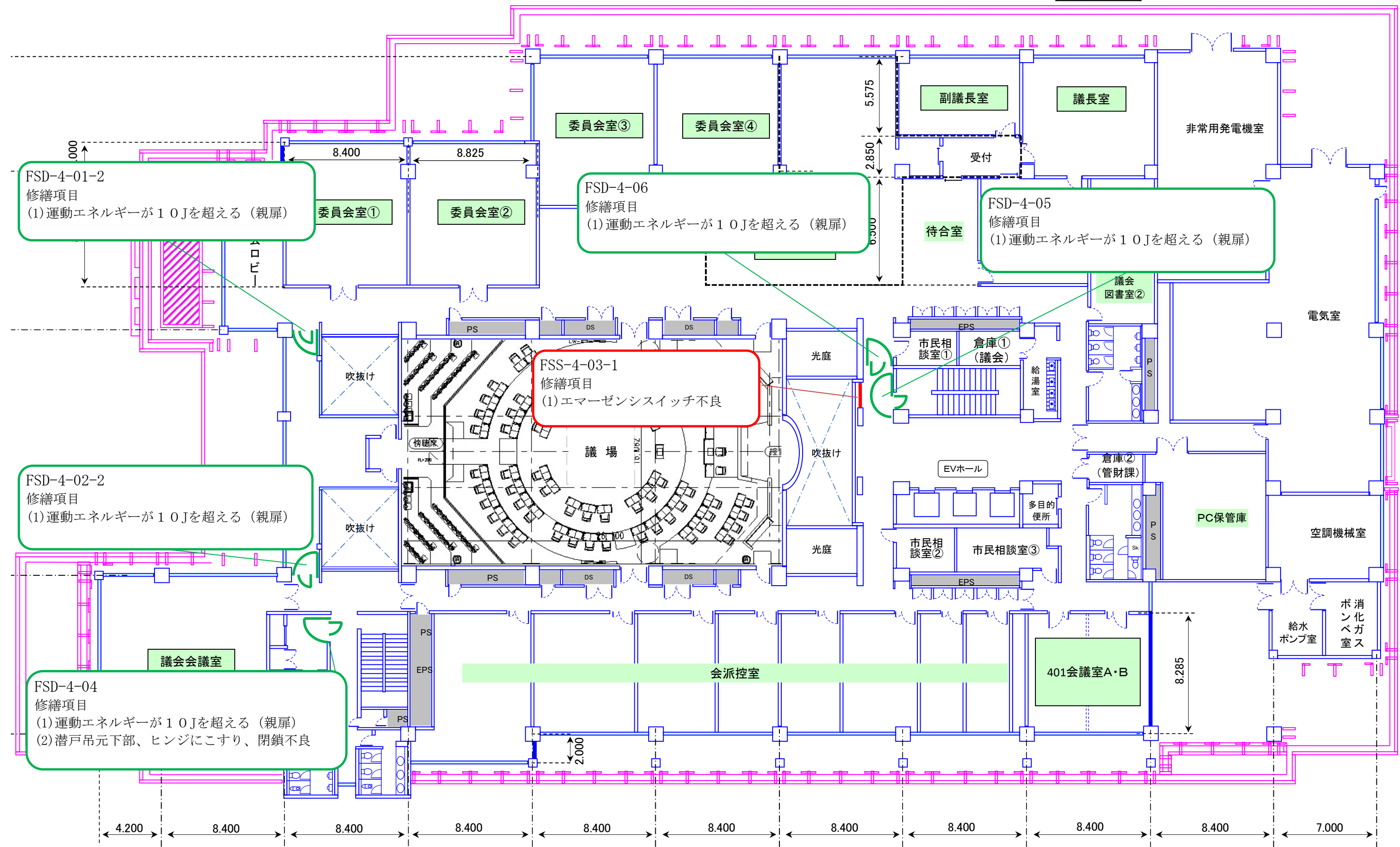
2階平面図



FSD 6
FSS 0

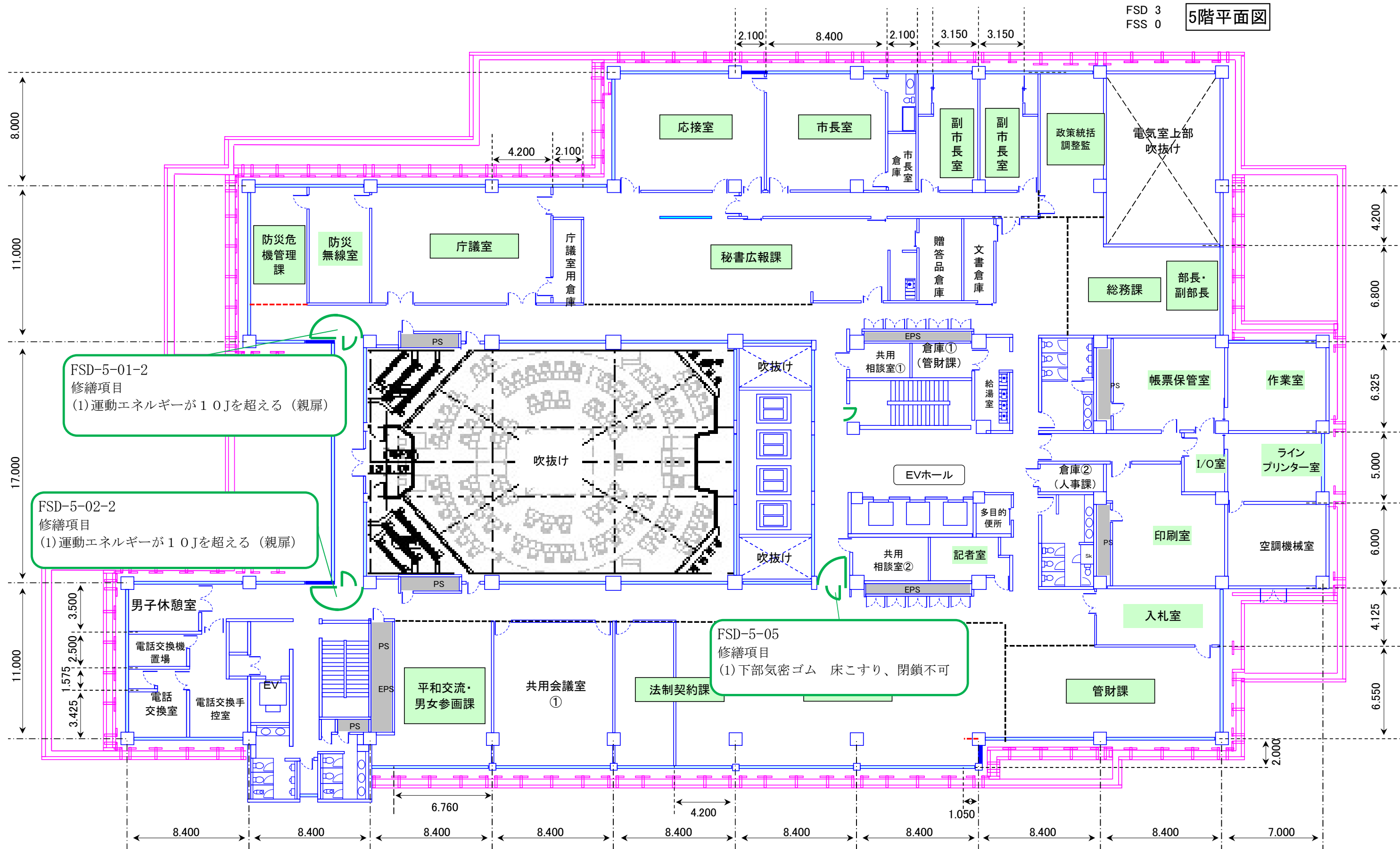
3階平面図

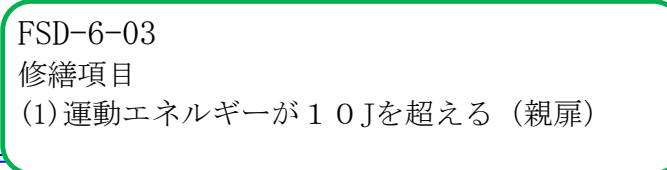




FSD 3
FSS 0

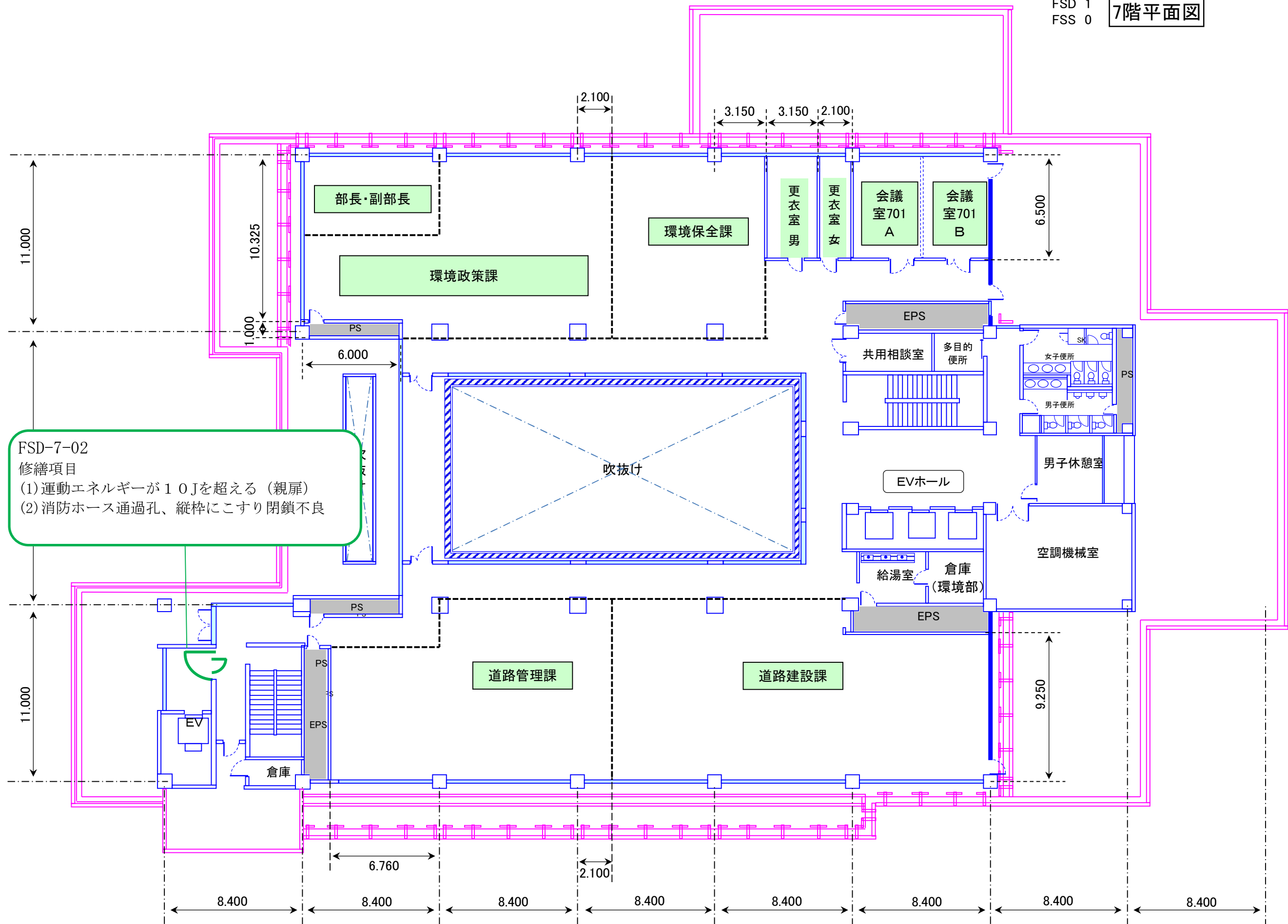
5階平面図





FSD 1
FSS 0

7階平面図



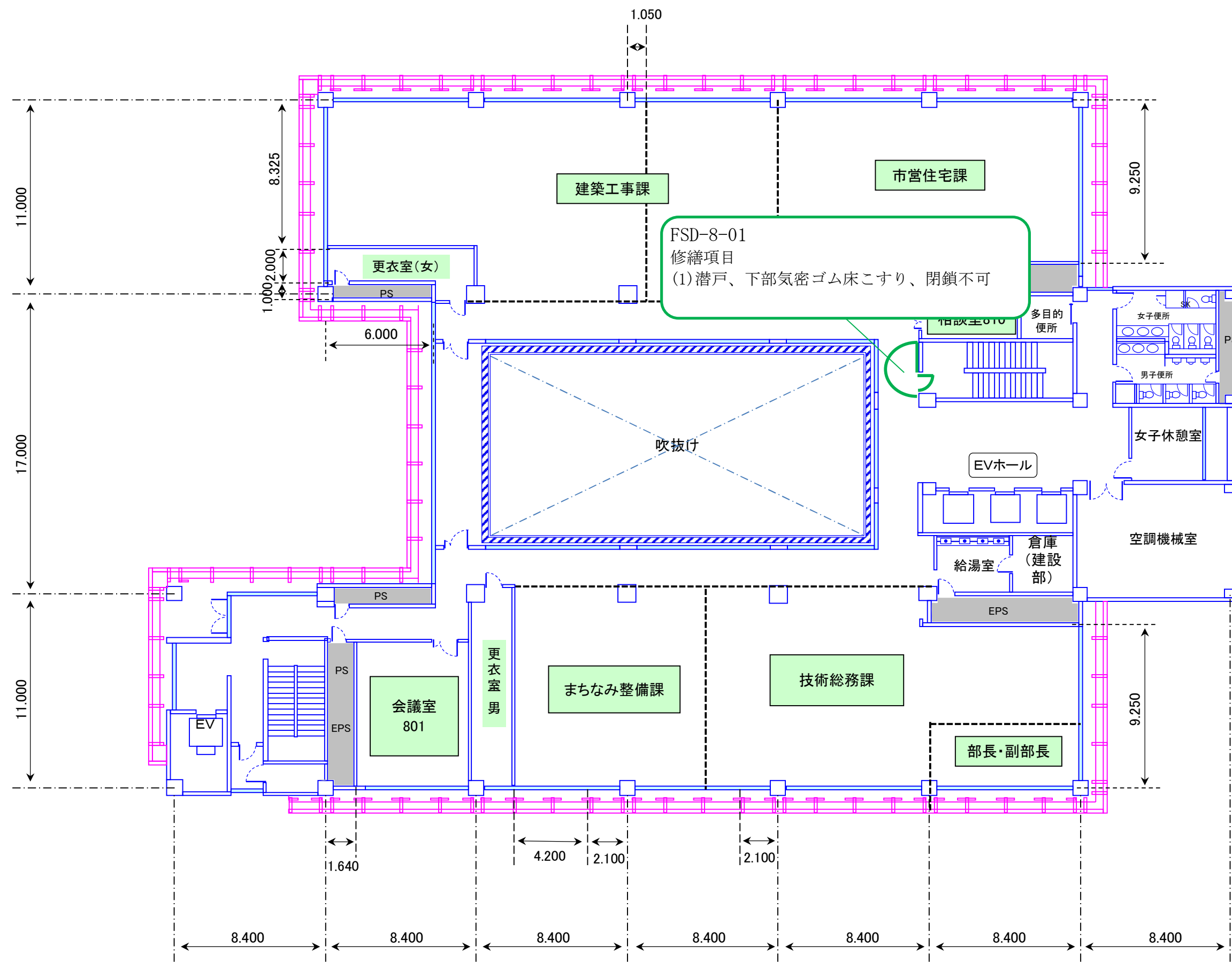
FSD-7-02

修繕項目

- (1) 運動エネルギーが10Jを超える（親扉）
- (2) 消防ホース通過孔、縦枠にこすり閉鎖不良

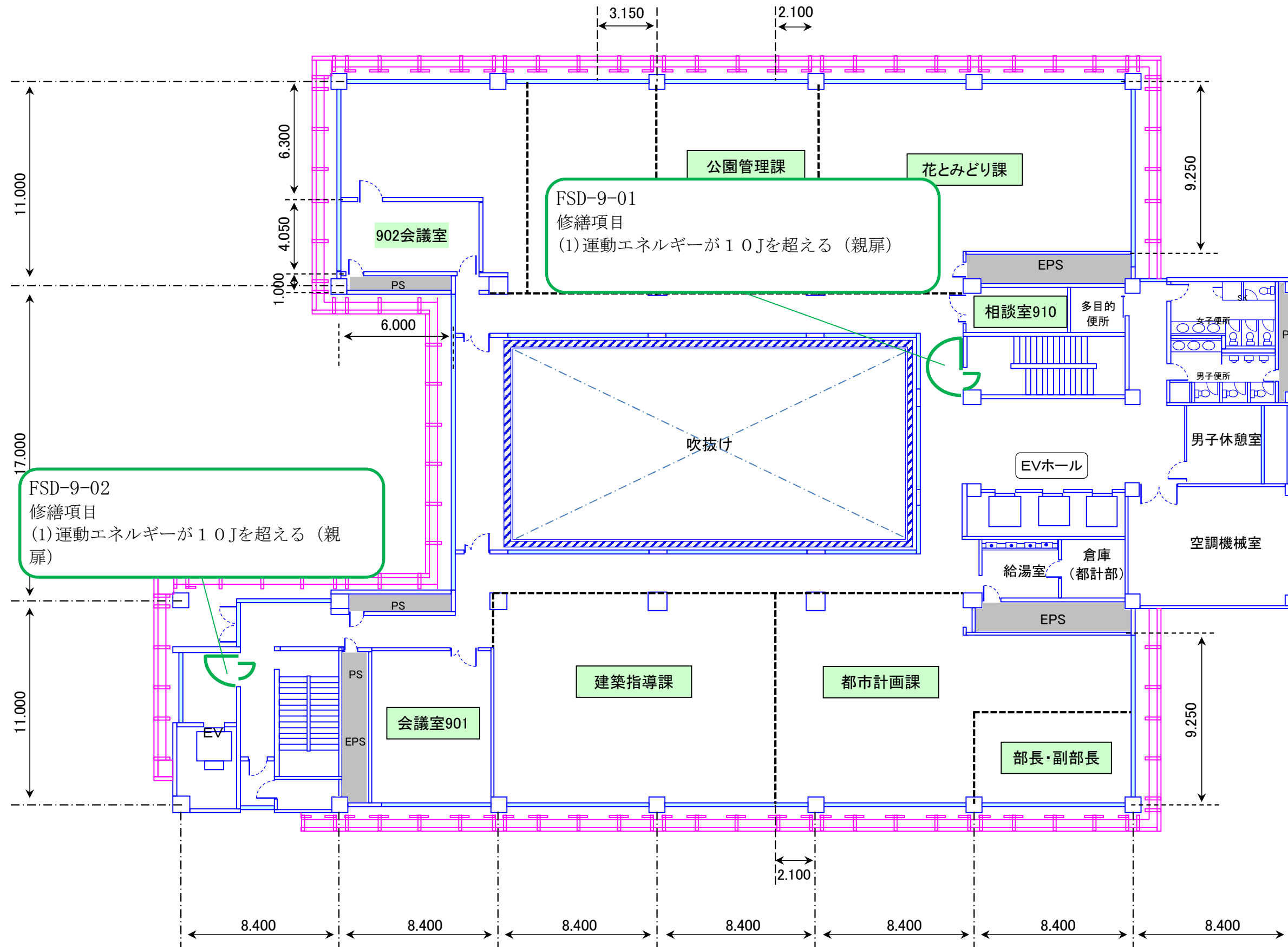
FSD 1
FSS 0

8階平面図



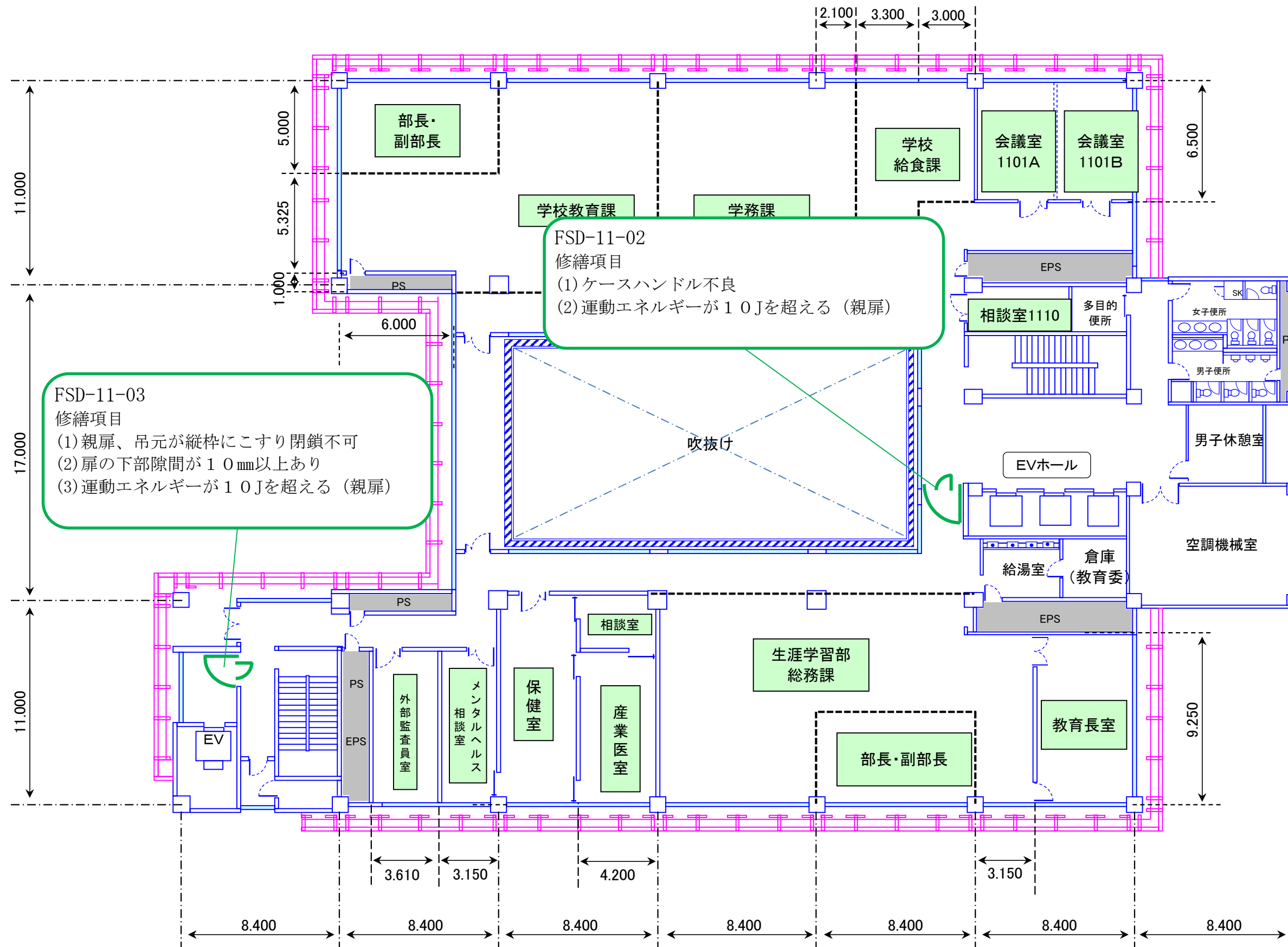
FSD 2
FSS 0

9階平面図



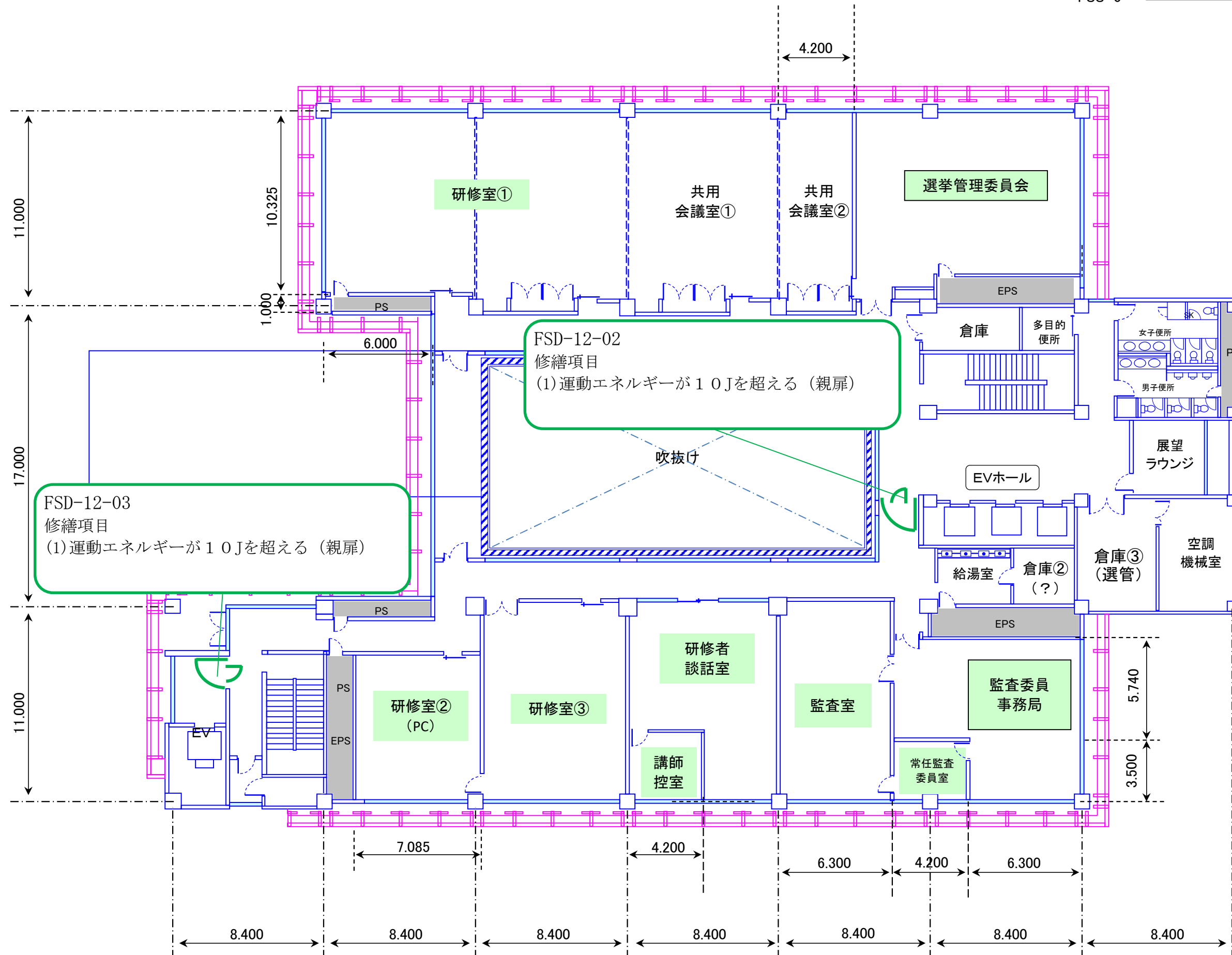
FSD 2
FSS 0

11階平面図



FSD 2
FSS 0

12階平面図



2 検査結果表 (防火扉)

検査結果表

(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既 存 不適格				
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○		1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況	○			1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)		総合的な作動の状況		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	消防ホース通過孔、開く向きが反対	防火戸の取替	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。

④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。

⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。

⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。

⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。

⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。

⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)	連動機構	連動制御器	結線接続の状況	○		1, 2
(10)			接地の状況	○		1, 2
(11)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)			容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)			防火区画の形成の状況	○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
1	設置場所の周囲状況	物品放置（段差スロープゴム）	物品の移動	
3	扉、枠及び金物	順位調整器不良	順位調整器の取替	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
 - ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
 - ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)	連動機構	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)			結線接続の状況	○		1, 2
(10)			接地の状況	○		1, 2
(11)		予備電源への切り替えの状況	予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)			劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)		連動機構用予備電源	容量の状況	○		1, 2
(14)			設置の状況	○		1, 2
(15)		自動閉鎖装置	再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)	総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)			防火区画の形成の状況	○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	消防ホース通過孔、開く向きが反対	防火戸の取替	
3	扉、枠及び金物	下部気密ゴム劣化	下部気密ゴムの取替	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等

特記事項

番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	潜戸下部気密ゴム、床にこすり閉鎖不可	扉下部気密ゴムの取替	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		連動機構	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)			結線接続の状況	○		1, 2
(10)			接地の状況	○		1, 2
(11)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)			容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目		検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
				指摘 なし	要是正			
					既	存 不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○		1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)		総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	吊元気密ゴム不良	気密ゴムの取替	
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)			結線接続の状況	○		1, 2
(10)			接地の状況	○		1, 2
(11)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)			容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)		総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	潜戸下部気密ゴム、床にこすり閉鎖不可	点字タイルの調整（建築工事）	
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)			結線接続の状況	○		1, 2
(10)			接地の状況	○		1, 2
(11)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)			容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)		総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○				1, 2	
(6)		感知の状況	○				1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)		連動機構	スイッチ類及び表示灯の状況	○				1, 2
(9)	連動制御器		結線接続の状況	○				1, 2
(10)			接地の状況	○				1, 2
(11)			予備電源への切り替えの状況	○				1, 2
(12)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○				1, 2	
(13)		容量の状況	○				1, 2	
(14)	自動閉鎖装置	設置の状況	○				1, 2	
(15)		再ロック防止機構の作動の状況	○				1, 2	
(16)	総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)			防火区画の形成の状況	○			1, 2	

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2
(6)		感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-	
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2
(9)			結線接続の状況	○			1, 2
(10)			接地の状況	○			1, 2
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(13)			容量の状況	○			1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)		総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
 - ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
 - ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既	存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			結線接続の状況	○			1, 2	
(10)			接地の状況	○			1, 2	
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			1, 2	
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)		総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既	存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)		総合的な作動の状況		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既 存 不適格				
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)		総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2	

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目		検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
				指摘 なし	要是正			
					既	存 不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況		○		1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
1	設置場所の周囲状況	物品放置（ベンチ）	物品の移動	
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2
(6)		感知の状況	○			1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2
(9)	連動機構	結線接続の状況	○			1, 2
(10)		接地の状況	○			1, 2
(11)		予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(13)	連動機構用予備電源	容量の状況	○			1, 2
(14)		設置の状況	○			1, 2
(15)		再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(16)		防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。

④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。

⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。

⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。

⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。

⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。

⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)		温度ヒューズ装置	感知の状況	○		1, 2
(7)			設置の状況	-	-	
(8)		スイッチ類及び表示灯の状況		○		1, 2
(9)	連動制御器	結線接続の状況		○		1, 2
(10)		接地の状況		○		1, 2
(11)		予備電源への切り替えの状況		○		1, 2
(12)		劣化及び損傷の状況		○		1, 2
(13)	連動機構用予備電源	容量の状況		○		1, 2
(14)		設置の状況		○		1, 2
(15)		再ロック防止機構の作動の状況		○		1, 2
(16)		防火扉の閉鎖の状況		○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況		○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既	存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)				容量の状況	○			1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)				再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(16)			総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)			防火区画の形成の状況	○			1, 2	

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
		既 存 不 適 格						
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)		総合的な作動の状況		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等					

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況		○	1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)						
(9)	連動機構	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(10)			結線接続の状況	○		1, 2
(11)			接地の状況	○		1, 2
(12)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(13)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(14)		容量の状況	○			1, 2
(15)	自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2
(16)		再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	潜戸吊元下部ヒンジにこすり、閉鎖不良	潜戸の切削調整等	
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)				結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)				容量の状況	○			1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)				再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(16)		総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)		感知の状況	○			1, 2		
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			結線接続の状況	○			1, 2	
(10)			接地の状況	○			1, 2	
(11)			予備電源への切り替えの状況	○			1, 2	
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)		総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)	連動機構	連動制御器	結線接続の状況	○		1, 2
(10)		連動制御器	接地の状況	○		1, 2
(11)		連動制御器	予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)	自動閉鎖装置	連動機構用予備電源	容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(15)		自動閉鎖装置	再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)		自動閉鎖装置	防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等					

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表

(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既	存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2	
(17)		総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2	

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。

② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。

③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。

④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。

⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。

⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。

⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。

⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。

⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。

⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。

⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。

⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。

⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格		
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2	
(6)			感知の状況	○		1, 2	
(7)			温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2	
(9)				結線接続の状況	○		1, 2
(10)				接地の状況	○		1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2	
(13)				容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2	
(15)				再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)		総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	下部気密ゴム床こすり、閉鎖不良	扉下部気密ゴムの取替	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2
(9)	連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)		接地の状況	○			1, 2
(11)		予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(13)	連動機構用予備電源	容量の状況	○			1, 2
(14)		設置の状況	○			1, 2
(15)		再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(16)		防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
 - ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
 - ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)		温度ヒューズ装置	感知の状況	○		1, 2
(7)			設置の状況	-	-	
(8)		スイッチ類及び表示灯の状況		○		1, 2
(9)	連動制御器	結線接続の状況		○		1, 2
(10)		接地の状況		○		1, 2
(11)		予備電源への切り替えの状況		○		1, 2
(12)		劣化及び損傷の状況		○		1, 2
(13)	連動機構用予備電源	容量の状況		○		1, 2
(14)		設置の状況		○		1, 2
(15)		再ロック防止機構の作動の状況		○		1, 2
(16)		防火扉の閉鎖の状況		○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況		○		1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
 - ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
 - ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況		○	1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)						
(9)	連動機構	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(10)			結線接続の状況	○		1, 2
(11)			接地の状況	○		1, 2
(12)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(13)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(14)			容量の状況	○		1, 2
(15)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(16)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	消防ホース通過孔、縦枠にこすり閉鎖不良	消防ホース通過孔の切削調整等	
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
 - ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
 - ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)						
(9)	連動機構	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(10)			結線接続の状況	○		1, 2
(11)			接地の状況	○		1, 2
(12)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(13)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(14)			容量の状況	○		1, 2
(15)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(16)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	潜戸、下部気密ゴム床こすり、閉鎖不可	扉下部気密ゴムの取替	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)		感知の状況	○			1, 2		
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
 - ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
 - ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
 - ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
 - ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
 - ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
 - ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
 - ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
 - ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
 - ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
 - ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
 - ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
 - ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況	○		1, 2
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(9)	連動機構	連動制御器	結線接続の状況	○		1, 2
(10)		連動制御器	接地の状況	○		1, 2
(11)		連動制御器	予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(13)	自動閉鎖装置	連動機構用予備電源	容量の状況	○		1, 2
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(15)		自動閉鎖装置	再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(16)		自動閉鎖装置	防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況		○	1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)						
(9)	連動機構	連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1, 2
(10)			結線接続の状況	○		1, 2
(11)			接地の状況	○		1, 2
(12)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(13)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1, 2
(14)			容量の状況	○		1, 2
(15)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1, 2
(16)			再ロック防止機構の作動の状況	○		1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
(17)		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
3	扉、枠及び金物	ケースハンドル不良（潜戸）	ケースハンドルの取替	
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存不適格	
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1, 2
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○		1, 2
(3)		扉、枠及び金物	扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況		○	1, 2
(4)		危害防止装置	作動の状況		○	1, 2
(5)		煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1, 2
(6)			感知の状況	○		1, 2
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	
(8)						
(9)	連動機構	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2
(10)		連動制御器	結線接続の状況	○		1, 2
(11)			接地の状況	○		1, 2
(12)			予備電源への切り替えの状況	○		1, 2
(13)	連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2
(14)		容量の状況	○			1, 2
(15)	自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2
(16)		再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2
(17)	総合的な作動の状況	防火扉の閉鎖の状況	○			1, 2
		防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項						
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月		
3	扉、枠及び金物	親扉、吊元が縦枠にこすり閉鎖不可	親扉の切削調整等			
3	扉、枠及び金物	扉の下部隙間が10mm以上あり	扉の調整、下部ゴムの取替等			
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）			

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格			
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)		感知の状況	○			1, 2		
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火扉)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号		
			指摘 なし	要是正				
				既 存 不適格				
(1)	防火扉	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1, 2	
(2)		扉、枠及び金物	扉の取付けの状況	○			1, 2	
(3)			扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(4)		危害防止装置	作動の状況		○		1, 2	
(5)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1, 2	
(6)			感知の状況	○			1, 2	
(7)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-		
(8)			スイッチ類及び表示灯の状況	○			1, 2	
(9)			連動制御器	結線接続の状況	○			1, 2
(10)				接地の状況	○			1, 2
(11)				予備電源への切り替えの状況	○			1, 2
(12)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1, 2	
(13)			容量の状況	○			1, 2	
(14)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1, 2	
(15)			再ロック防止機構の作動の状況	○			1, 2	
(16)			総合的な作動の状況		防火扉の閉鎖の状況	○		1, 2
(17)				防火区画の形成の状況	○			1, 2

上記以外の検査項目等						

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定）年月
4	危害防止装置	運動エネルギーが10Jを超える（親扉）	ドアクローザーの取付（補助装置）	

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

3 検査結果表 (防火シャッター)

検査結果表
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既 存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1、2
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○		1、2
(3)			スプロケットの設置の状況※	○		1、2
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○		1、2
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○		1、2
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○		1、2
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○		1、2
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○		1、2
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○		1、2
(10)		危害防止装置	危害防止装置用連動中継器の配線の状況	○		1、2
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○		1、2
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○		1、2
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	1、2
(14)			作動の状況	○		1、2
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1、2
(16)			感知の状況	○		1、2
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-
(18)		運動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1、2
(19)			結線接続の状況	○		1、2
(20)			接地の状況	○		1、2
(21)			予備電源への切り替えの状況	○		1、2
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1、2
(23)			容量の状況	○		1、2
(24)			設置の状況	○		1、2
(25)		自動閉鎖装置	設置の状況	○		1、2
(26)		手動閉鎖装置	設置の状況	○		1、2
(27)		総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○		1、2
			防火区画の形成の状況	○		1、2
上記以外の検査項目等						
特記事項						
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等		改善（予定）年月	
13	危害防止装置	コードリール不良	コードリールの取替			

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格		
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○			1、2
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○			1、2
(3)			スプロケットの設置の状況※	○			1、2
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○			1、2
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			1、2
(6)			カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況	○		
(7)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			1、2
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○			1、2
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			1、2
(10)		危害防止装置	危害防止装置用連動中継器の配線の状況	○			1、2
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○			1、2
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○			1、2
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	○			1、2
(14)			作動の状況	○			1、2
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○			1、2
(16)			感知の状況	○			1、2
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	－	－	－	
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1、2
(19)			結線接続の状況	○			1、2
(20)			接地の状況	○			1、2
(21)			予備電源への切り替えの状況	○			1、2
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○			1、2
(23)			容量の状況	○			1、2
(24)			設置の状況	○			1、2
(25)		自動閉鎖装置	設置の状況		○		1、2
(26)		手動閉鎖装置	設置の状況			○	1、2
(27)		総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○			1、2
		防火区画の形成の状況	○			1、2	
上記以外の検査項目等							
特記事項							
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等				改善（予定）年月
25	手動閉鎖装置	手動閉鎖装置不良	手動閉鎖装置、連動中継器の取替				

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	指摘 なし	検査結果		担当 検査者 番号
				要是正	既 存 不適格	
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1、2
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○		1、2
(3)			スプロケットの設置の状況※	○		1、2
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○		1、2
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○		1、2
(6)			カーテン部	スラット及び座板の劣化等の状況	○	
(7)			吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○		1、2
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○		1、2
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○		1、2
(10)		危害防止装置	危害防止装置用連動中継器の配線の状況	○		1、2
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○		1、2
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○		1、2
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況		○	1、2
(14)			作動の状況	○		1、2
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1、2
(16)			感知の状況	○		1、2
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	-	-	-
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1、2
(19)			結線接続の状況	○		1、2
(20)			接地の状況	○		1、2
(21)			予備電源への切り替えの状況	○		1、2
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1、2
(23)			容量の状況	○		1、2
(24)			自動閉鎖装置	設置の状況	○	
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況	○		1、2
(26)		総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○		1、2
(27)			防火区画の形成の状況	○		1、2
上記以外の検査項目等						
						1、2
特記事項						
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等			改善（予定）年月
13	危害防止装置	コードリール不良	コードリールの取替			

①

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に關与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に關与した検査者」欄で別記した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみに記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
			指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1、2	
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※		○		1、2
(3)			スプロケットの設置の状況※	○			1、2
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○			1、2
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○			1、2
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○			1、2
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○			1、2
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○			1、2
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○			1、2
(10)		危害防止装置	危害防止装置用連動中継器の配線の状況	○			1、2
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○			1、2
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○			1、2
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	○			1、2
(14)			作動の状況	○			1、2
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1、2	
(16)		感知の状況	○			1、2	
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	－	－	－	
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○			1、2
(19)			結線接続の状況	○			1、2
(20)			接地の状況	○			1、2
(21)			予備電源への切り替えの状況	○			1、2
(22)			劣化及び損傷の状況	○			1、2
(23)		連動機構用予備電源	容量の状況	○			1、2
(24)			設置の状況	○			1、2
(25)		自動閉鎖装置	設置の状況	○			1、2
(26)		手動閉鎖装置	設置の状況	○			1、2
(27)	総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○			1、2	
(27)		防火区画の形成の状況	○			1、2	
上記以外の検査項目等							
特記事項							
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等			改善（予定）年月	
2	駆動装置	開閉機オイル漏れ	開閉機の取替				

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表
(防火シャッター)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		1
	その他の検査者		2

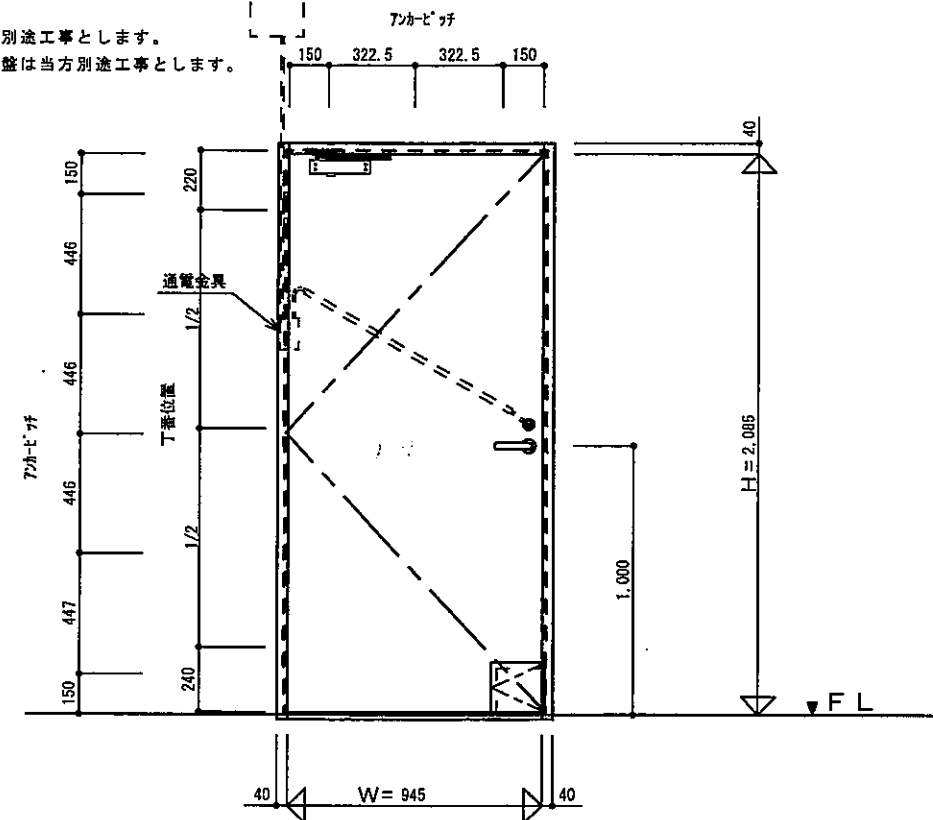
番号	検 査 項 目	検査事項	検査結果			担当 検査者 番号	
			指摘 なし	要是正	既 存 不 適 格		
(1)	防火シャッター	設置場所の周囲状況	閉鎖の障害となる物品の放置の状況	○		1、2	
(2)		駆動装置	軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※	○		1、2	
(3)			スプロケットの設置の状況※	○		1、2	
(4)			軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※	○		1、2	
(5)			ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況	○		1、2	
(6)			スラット及び座板の劣化等の状況	○		1、2	
(7)		カーテン部	吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況	○		1、2	
(8)		ケース	劣化及び損傷の状況	○		1、2	
(9)		まぐさ及びガイドレール	劣化及び損傷の状況	○		1、2	
(10)		危害防止装置	危害防止装置用連動中継器の配線の状況	○		1、2	
(11)			危害防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況	○		1、2	
(12)			危害防止装置用予備電源の容量の状況	○		1、2	
(13)			座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況	○		1、2	
(14)			作動の状況	○		1、2	
(15)	連動機構	煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器	設置位置	○		1、2	
(16)			感知の状況	○		1、2	
(17)		温度ヒューズ装置	設置の状況	－	－	－	
(18)		連動制御器	スイッチ類及び表示灯の状況	○		1、2	
(19)			結線接続の状況	○		1、2	
(20)			接地の状況	○		1、2	
(21)			予備電源への切り替えの状況	○		1、2	
(22)		連動機構用予備電源	劣化及び損傷の状況	○		1、2	
(23)			容量の状況	○		1、2	
(24)			自動閉鎖装置	設置の状況	○		1、2
(25)		手動閉鎖装置	設置の状況	○		1、2	
(26)		総合的な作動の状況	防火シャッターの閉鎖の状況	○		1、2	
(27)			防火区画の形成の状況	○		1、2	
上記以外の検査項目等							
(28)	エマーゼンシスイッチ			○		1、2	
特記事項							
番号	検査項目等		指摘の具体的内容等		改善策の具体的内容等		改善（予定）年月
28	エマーゼンシスイッチ		エマーゼンシスイッチ不良		エマーゼンシスイッチの取替		

- (注意)
- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査事項について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

4 補足資料

(FSD-B2-04、
FSD-B1-05、
FSS-2-05-1)

※電気錠の配線工事は当方別途工事とします。
※テンキー制御器及び制御盤は当方別途工事とします。



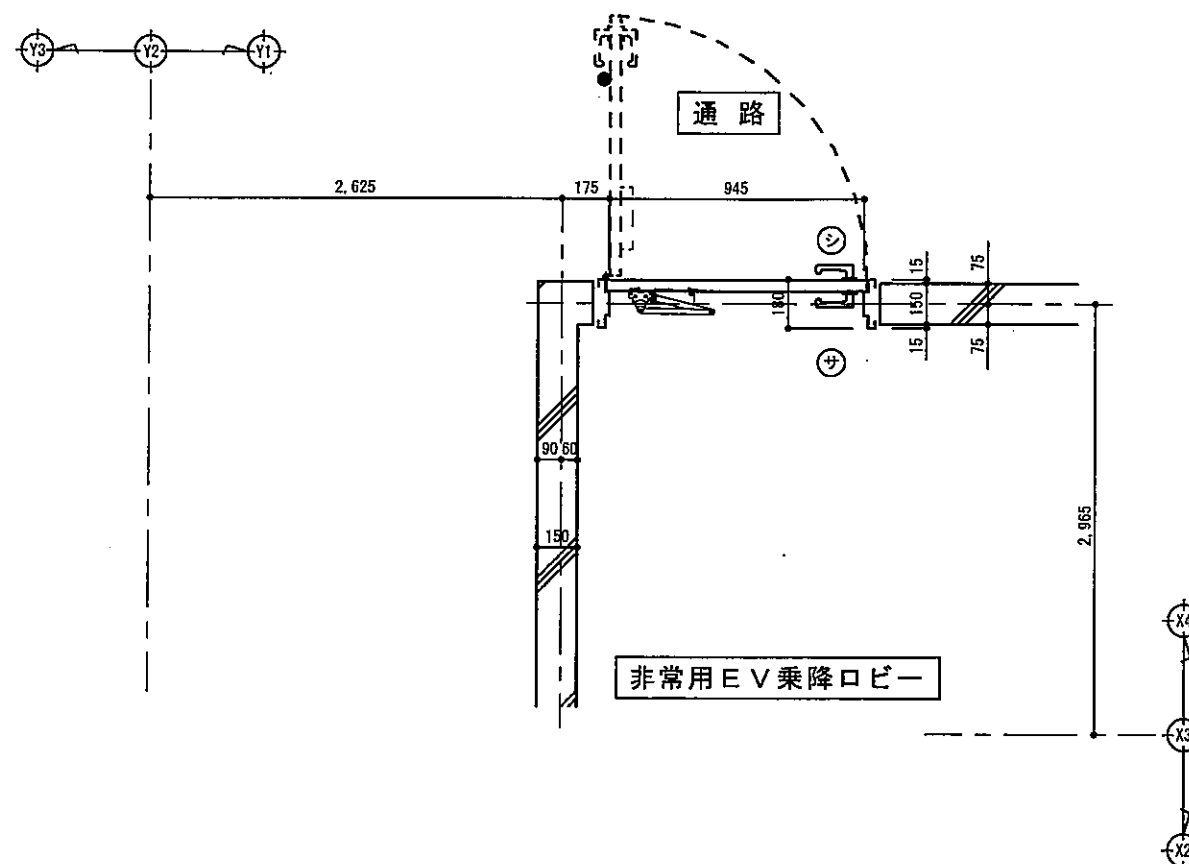
図面は 非常用EV乗降ロビー 側より観る

特定防火設備

枠見込180mmスチール片開きフラッシュドア

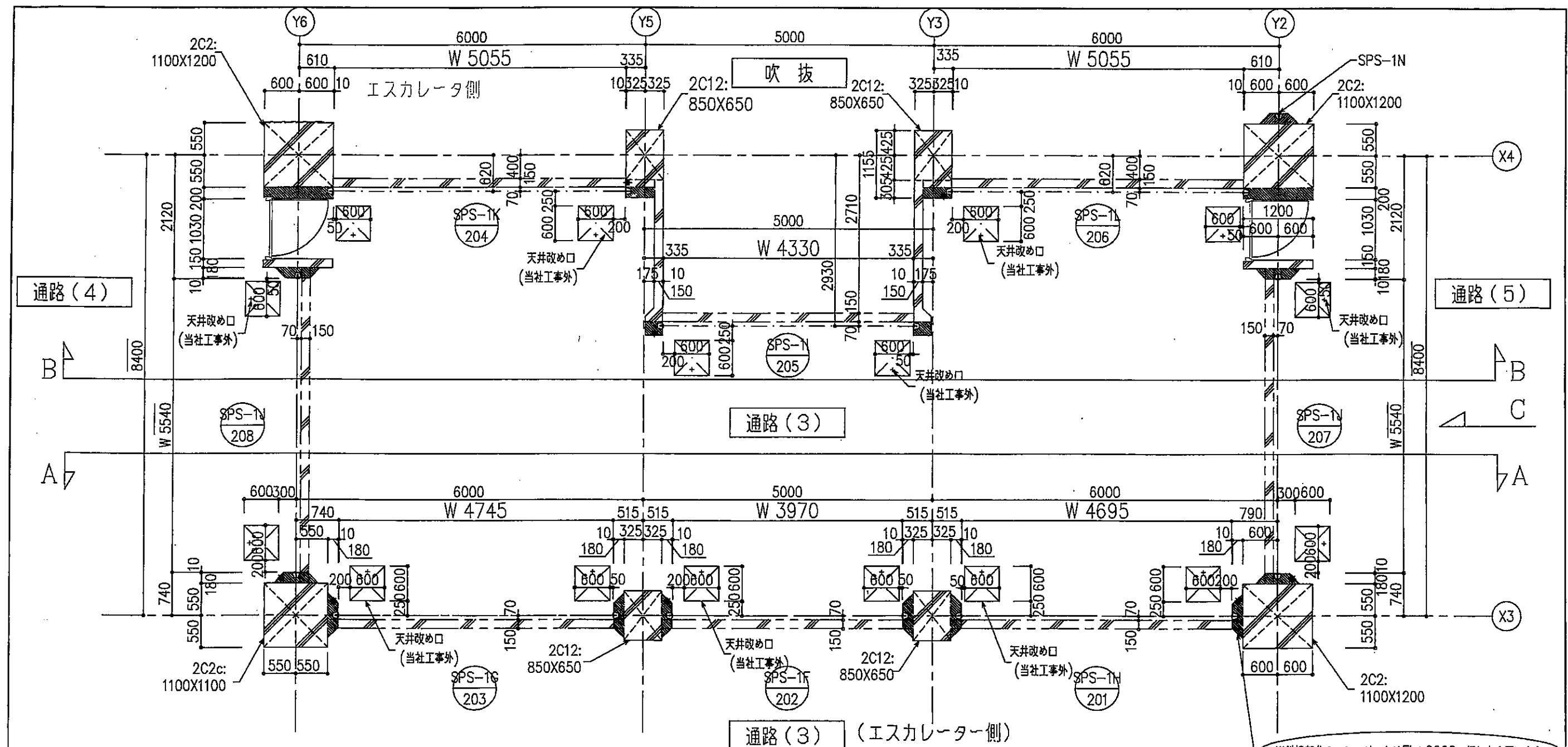
符 号	数 量	取 付 場 所	
2B SFD	B 1 × 1 台 B 2 × 1 台	B1階・B 2 階 非常用 E V 乗降ロビー	
名 称	メーカ	規 格	数 量
レバーハンドル電気錠	ゴール	EUR-5BU BS/76	1
通電金具	ゴール	RCL-27	1
ドアクローザー	ニュースター	P-7004 (ストップなし)	1
ステンレス丁番	中 西	5KJ-41	3
戸当り	中 西	DC-592 (床付)	1
消防ホース口	プリンス	B-121	1

扉表面板	1.6t 表面処理鋼板 SOP
枠	1.6t 表面処理鋼板 SOP
下枠	2.0t SUS304 HL



設計監理 ㈱ 国建・㈱ 環境設計国建 共同企業体 殿	図案記 年 月 日	検 査 年 月 日	設 計 年 月 日	試 験 年 月 日	図 号 -003
施 工 ㈱ 東恩納組・㈱ 小波津組・㈱ 鏡原組 特定建設工事共同企業体 殿	図案記 年 月 日	検 尺 1/20	工 事 名 那覇市新庁舎建設工事 (建築・2工区) 株式会社 L I X I L 鈴木シャッター		

2B
SFD



電動式防煙シャッター (避難時停止装置付) SPS-1M SPS-1K SPS-1G SPS-1N SPS-1C SPS-1F SPS-1H

スラット	F-6	スチール1.6t	開閉機	SG15	定格出力	3φ200V 0.2kw 60Hz	設計範囲	E
座板		ステンレス	巻取シャフト	4"-35G	押ボタン		備考	急降下停止装置付 (35)
ガイドレール		ステンレス	軸受	No. 0	手動開鎖装置	EOS-N-A	〈塗装仕様〉	
まぐさ		ステンレス	軸受	No. 0	解放装置	ER-N	〈塗装仕様〉	外付含む全ての部分: 錆止塗装
ケース		スチール	手動時操作	チェーン式	解放装置	DC24V 400mA		

電動式防煙シャッター (避難時停止装置付) SPS-1K SPS-1N

スラット	F-6	スチール1.6t	開閉機	SG15	定格出力	3φ200V 0.2kw 60Hz	設計範囲	H
座板		ステンレス	巻取シャフト	4"-35G	押ボタン		備考	急降下停止装置付 (35)
ガイドレール		ステンレス	軸受	No. 0	手動開鎖装置	EOS-N-A	〈塗装仕様〉	
まぐさ		ステンレス	軸受	No. 0	解放装置	ER-N	〈塗装仕様〉	外付含む全ての部分: 錆止塗装
ケース		スチール	手動時操作	チェーン式	解放装置	DC24V 400mA		

電動式防煙シャッター (避難時停止装置付) SPS-1N SPS-1H

スラット	F-6	スチール1.6t	開閉機	SG15	定格出力	3φ200V 0.2kw 60Hz	設計範囲	I
座板		ステンレス	巻取シャフト	5"-35G	押ボタン		備考	急降下停止装置付 (35)
ガイドレール		ステンレス	軸受	No. 1	手動開鎖装置	EOS-N-A	〈塗装仕様〉	
まぐさ		ステンレス	軸受	No. 1	解放装置	ER-N	〈塗装仕様〉	外付含む全ての部分: 錆止塗装
ケース		スチール	手動時操作	チェーン式	解放装置	DC24V 400mA		

電動式防煙シャッター (避難時停止装置付) SPS-1M SPS-1G SPS-1C

スラット	F-6	スチール1.6t	開閉機	SG13	定格出力	3φ200V 0.13kw 60Hz	設計範囲	B
座板		ステンレス	巻取シャフト	4"-35G	押ボタン		備考	急降下停止装置付 (35)
ガイドレール		ステンレス	軸受	No. 0	手動開鎖装置	EOS-A	〈塗装仕様〉	
まぐさ		ステンレス	軸受	No. 0	解放装置	ER-N	〈塗装仕様〉	外付含む全ての部分: 錆止塗装
ケース		スチール	手動時操作	チェーン式	解放装置	DC24V 400mA		

電動式防煙シャッター (避難時停止装置付) SPS-1C SPS-1G SPS-1H

スラット	G-1	スチール1.6t	開閉機	SG40	定格出力	3φ200V 0.5kw 60Hz	設計範囲	M
座板		ステンレス	巻取シャフト	6"-50G	押ボタン		備考	急降下停止装置付 (50)
ガイドレール		ステンレス	軸受	No. 2	手動開鎖装置	EOS-A	〈塗装仕様〉	
まぐさ		ステンレス	軸受	No. 2	解放装置	ER-N	〈塗装仕様〉	外付含む全ての部分: 錆止塗装
ケース		スチール	手動時操作	チェーン式	解放装置	DC24V 400mA		

工事名 那覇市新庁舎建設工事 (建築・2工区)
設計監理 (株) 国建 施工 (株) 東恩納組

受領年月日 令和 7.6.24
営業担当 尺度 1/50 図番 2F-003
設計番号 HSS-100222-01
三和シャッター工業株式会社
www.sanwa-ss.co.jp

1. 全てのシャッターは、躯体図にて作図しております。確認願います。
2. 材質・仕上げについて建具表特記仕様書との相異あり、ご確認願います。
3. 防火シャッターにて手動式も可能です、ご検討願います。
1.
2.
3.

SPS-1N 208
SPS-1N 207
SPS-1N 206
SPS-1N 205
SPS-1K 204
SPS-1G 203
SPS-1F 202
SPS-1H 201